

初幸君。

○議員（16番 大部 初幸君） おはようございます。16番、新政会の大部です。私は、もう前語りが下手なものですから単刀直入で質問に入らせていただきます。

では、通告書に従いまして、2つの質問をさせていただきます。

1点目の運賃輸送コスト補助金についてですが、本当にありがたい制度です。この質問は、25年6月の定例会でも関連の質問をさせてもらっていますが、そのときは国が3分の1、市が3分の1の補助金で、福岡までの輸送費が、大体一箱200円です。そのうちの133円が補助金でした。現在は、3か月分の運送費の補助金を1か月遅れで翌月に頂いているのですが、今年はコロナ病で全ての業界が苦しんでおります。今この現在は、一箱152円の補助金にまでなっております。

養殖マグロでも出荷調整で出荷しようにも出荷できない、出荷しても単価は生産単価割れです。対馬産のアナゴは、主に東京向けでしたが、御存じのように、東京がコロナ病で居酒屋等の時間制限、外出を控える要請などでアナゴの消費はほとんどと言ってもよいほどできない状態になりました。だから、売れないアナゴは漁師さんにも操業しないよとの、操業停止みたいな要請までありました。

釣りの魚でも、ブリが1キロ80円、ヒラマサにしても一箱に四、五匹入れた一箱単価が一箱1,000円、ブリの小さい、「ヤズ」と言うんですけど、これも4匹、6匹入れた単価が同様の一箱1,000円、イサキの小さいものは、一箱に5キロ以上入れた箱単価が500円で販売されました。取り前のない赤字の単価です。全てにおいて、例年の3分の1、また半額の単価です。

このように漁業者は非常に苦しんでおります。少しでも負担が軽くなるように、現在、3か月分の輸送コスト補助金を、一月早めて2か月分で補助できないかをお尋ねします。

2点目、対馬島内の海水浴場の中に設置されているトイレは、ほとんどの海水浴場は和式のトイレです。私も、このお盆前に孫を連れてグリーンパーク公園の海水浴場に泳ぎに連れていったとき、100人を超える人たちで海水浴場はにぎわっておりました。私は砂浜のすぐ横の木陰のところに座って、孫の泳ぎを見守っていたときに、身体障害者の女の子が、お母さん、おばあちゃんに体を少し抱きかかえられて泳ぎに入ったんです。泳ぎというか、海の中につかって楽しそうに泳いでいました。

しばらくして、その女の子、年齢は中学生ぐらいでしたが、母親がトイレを見に行き、こちらに走ってきて、「ここのトイレはだめ」と慌てて言っていました。こちらというのが、私の横におばあちゃんがおったものですから、おばあちゃんのところにお母さんが来たわけです。私は何でかなと思い、「何でだめなんですか」と尋ねてみました。そしたら、「洋式のトイレがないか

ら、この子は座ってさせないと無理なんです」と言われて、私もびっくりし、確認に行きました。確かに和式のトイレばかりでした。地元の議員として申しわけなく、「今年は無理にしても、来年は改善して洋式トイレを1か所は設置するようにしておきます」と、つい言ってしまいました。

2日後に、またグリーンパーク公園の海水浴場に孫2人を連れて行っていたら、今度は、4年から5年生ぐらいの身体障害者の女の子が、10人ぐらいのグループで来ました。その中に2人の障害者の女の子がいました。もちろん、家族と一緒に海につかって楽しそうにしていました。私の脳裏に浮かんだのが、このこたちもトイレを使うとなると大変なことだとつくづく思いました。何とか1か所だけでも洋式トイレを設置できないかお尋ねをします。

それから、シャワー室も、最初に出会った障害者の女の子の母親が、「ここは無理」と言って走ってきましたので不思議に思い、またそのときも尋ねました。そしたら、「椅子に座らせてこの子は着替えさせないと無理なんです」と言われ、ああ、そうだよなと本当に思い知らされました。障害者の方ばかりではなく、高齢者の方たちにも椅子か腰かけがあれば大変助かると思えます。椅子も、多分固定していないと危ないから、きちんと固定した腰かけというか、椅子の設置をお願いできないかをお尋ねします。

以上です。よろしくお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） おはようございます。大部議員の質問にお答えいたします。

初めに、運賃輸送コスト補助金の支払いについてでございますが、農林水産物における輸送コスト助成については、平成25年度から施行された改正離島振興法を踏まえ、定住の促進を図るため創設された離島活性化交付金を活用し、海上輸送費の軽減等、戦略産業の育成による雇用拡大等の取組を支援するものとして、事業を実施しております。

さらに、平成29年度より特定有人国境離島地域社会維持推進交付金への移行部分も含め、海路及び空路の輸送費助成を行っているところでございます。

その中で、鮮魚、活魚、貝類等の水産物の輸出及び輸入に必要な飼料等の輸入につきましては、特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用し、国、県、市、合わせて10分の8の助成を行っております。輸送コストの低廉化により、本土との格差を解消することで、競争力のある魅力的な水産業づくりに努めているところでございます。

今年度の輸送コストの対象は12漁協及び法人、個人等合わせて27事業所となっており、毎月の実績報告に基づき、四半期ごとに補助金を交付しております。

議員御指摘のとおり、水産業においても、新型コロナウイルス感染症の影響は長期間にわたり、消費低迷による出荷抑制、取引価格の下落等が継続しており、漁業者の皆様にとって大変厳しい状況であることは、十分認識しているところでございます。補助金の交付時期を現在の3か月か

ら2か月に短縮することにつきましては、農林産物及び水産加工品等も含めて、今後、調整が必要となることから、各事業所等の現状や要望等を聞きながら、必要な対応を講じてまいりたいと存じます。

次に、対馬島内の海水浴場のトイレとシャワー室についてでございますが、本市海水浴場の開設につきましては、県条例、遊泳者プレジャーボート利用者等の事故防止に関する条例の規定により、開設期間、水難事故防止安全措置について、県公安委員会に通知を行った上で開設をしているところでございます。

本年度におきましては、巖原町管内3か所、美津島町管内2か所、上県町管内1か所、上対馬町管内4か所の、計10か所の海水浴場を開設しており、開設期間は、例年、こどもたちの夏休みに合わせ、7月中旬から8月末までとしております。開設した全ての海水浴場には、トイレ、シャワー室を設置し、快適に海水浴を楽しんでもらうため、トイレについては全て水洗、または簡易水洗式としておりますが、その中には、和式便器のみの施設もあり、使用に当たり、支障を来す利用者の方もいらっしゃることから、今後、洋式化に向け、施設の現況調査を行った上で検討してまいります。

御指摘のありました勝見浦海水浴場は、太田浦海水浴場と隣接しており、この2つの海水浴場が遊歩道で結ばれていることから、シーズンになると多くの利用客でにぎわう、島内でも人気の高い海水浴場でございます。

太田浦海水浴場は平成5年7月、勝見浦海水浴場は平成11年8月に供用開始しておりますが、この2つの海水浴場は、長崎県が県営海岸環境整備事業により整備されました。供用開始後は、長崎県と対馬市との間で海岸環境整備施設の管理委託について協定書を締結し、対馬市が建物及び建造物の維持管理を担い、これまで建物や建造物の経年劣化に伴う修理や現状維持に関する補修等を行っております。

トイレの設置状況としましては、全て簡易水洗とされており、太田浦海水浴場については、トイレが1棟と男女共用のトイレが1棟で、全て簡易水洗の和式便器となっております。

勝見浦海水浴場については、男子トイレと女子トイレがそれぞれ1棟ずつで、当海水浴場も全て和式の簡易水洗となっております。

議員御指摘のトイレに関しましては、平成21年に、昔ながらの落とし込みトイレから、衛生面を考慮して簡易水洗へ改修いたしました。和式便器をはじめ、その他の設備や構造は供用開始時のままで、高齢者や体が不自由な方々に対して御不便をおかけしているところでございます。

当該海水浴場は、交通の便もよく、環境省選定の日本の海水浴場88選に選ばれるほどの自然が豊かできれいな海水浴場でございます。今後、太田浦、勝見浦の両海水浴場の施設の改善に向け、県とも協議しながら、高齢者や障害者に配慮したトイレの洋式化を進めてまいります。

また、シャワー室内の腰かけ等の設置につきましても、島内海水浴場のシャワー室を調査し、前向きに検討をしてみたいです。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 16番、大部初幸君。

○議員（16番 大部 初幸君） まず、本当に前向きな答弁を頂き、本当にありがとうございます。

市長の答弁にもありましたように、今現在、対馬を取り巻く水産業は、水産業に限らず厳しいのはよく分かるんですが、やはり対馬の水産業の水揚げというものは対馬を支えている根本と言ってもいいぐらい、過言ではないと私は思います。いいときは、やはり平成6年、9年は330億、350億という水産業の水揚げでした。中でもその頃は、みんな対馬島内景気がよくて、真珠にしても100億、イカ釣りでも90億から100億、全てが今の現在からは想像もできないような水揚げがしていました。それがこの現在は、140億ぐらいでしょう、多分。半以下に落ちたわけですから、対馬島内が生活が楽になるということは絶対ないと思うわけですよ。

また、今年は、先ほど私が質問内容で言わせてもらったように、本当にもうそみたいな単価で魚が売買できるわけですね。私も8月の中旬以降やったですかね、定置網に52キロのマグロが入ったんですけど、キロ800円ですよ。うそだろうというぐらい信じられない単価で販売できてました。私に限らずですから、先ほど言ったように、ブリなんかでもキロ80円、悪いときは50円ですよ。私たちがマグロに買うエサは15キロで1,900円まで今なっているわけですね。とれたブリを餌にやったほうが、計算すればいいような単価なんです。どっちが本当の価値のある魚か分からんような状態まで陥っています。

そういう中で、この運賃の補助というのは、本当に漁師さんはありがたく思っているわけです。私の地域でもそうなんですけど、今3か月分を翌月の1か月で補助を頂いているんですけど、その中でよく声が出ていたのが、一月でも早めにしてもらって、2か月分で精算してもらって翌月してもらえれば大分助かるんですよという声が、あちこち結構出ていたんですね。それで漁協のほうにも、1か月早めるということは、どうしても漁協が精算して市のほうに出すやないですか、それは大丈夫かということを探ってみましたら、組合長も、遅れかすということは、精算を遅れかすということは、とても反対ですけど、前もって前に進むということだったら、組合はどこの12漁協ある組合でも、さっき27事業所ですか、事業所にしても、組合員にしても、反対する人がいなくて、ぜひ一月でも早めてくださいというお願いです。

今、ちょっと逆計算というか、23年度が出荷量が約1万8,042トンで、箱数に直したら、287万2,000箱になるんですね。これを福岡まで200円の運賃だから5億7,400万、

そのときの補助金が、当時は一箱80円だったから2億2,976万円ですが、現在は、一箱単価補助金が152円まで頂いております。だから、これ逆算すると4億3,650万になるわけですけど、このお金が逆に言えば、対馬の漁業者の手元に落ちるという計算になるわけですから大変喜ぶと思います。市長の答弁もありがたい答弁で、そういうふうには短縮の方向で改善していくという言葉頂きましたので、私も安心して、この質問は一応終わらせていただきます。

2点目の、この身体障害者と言ってもいいんでしょうけど、海水浴場に私も行っとなったときに、先ほど言ったように、障害者のこどもが来て、本当にトイレにお母さんが走って行ってですね、変な話、おしっこのほうやったら出てこなくてもよかったと思うんですけど、まあテレビですから、それ以上は言いませんけど、お母さんが慌てて走ってきて、トイレに走りこんだんですね。私の横に何かこう小さいビニールシートを置いておばあちゃんがおらったもんですから、おばあちゃんのところに走ってこられたんです、お母さんが。「ここはだめ、ここはだめ」と言って慌てているもんですから、先ほど言ったように、何でだめなんですかと言ったら、もう和式だから、座らせないとこの子はだめなんですよと言って、公園のほうのトイレは洋式は間違いなくありますんで、お母さんがその子を乗せるために、テニスコートのところに車の駐車場があるから、そこに走って行ってですね、そのまま濡れた女の子をそのまま座席に押しつけていったんですよ。で、トイレはもちろん済ませて、また今度、泳ぎを少ししていました。

そして、私も、ああそうだなと思っていたときに——そうだなというのが、私もそのお母さんに聞いたときに、「この子は座らせないとだめなんですよ」と言われたときにですね、私もそのとき気がついたわけです。ああ、自分たちは健全な体だから、そこまで気がついてなかったんですけど、確かに障害のあるこどもは和式は無理ですもんね、正直。様式があれば、手を握らせたりいろいろできるとでしようけど、つついさっき私が言いましたように、「必ず1か所は来年はつけときますよ」ということを言ってしまったんです。「どこから来られたんですか」と言ったら、「京都から来ています」ということやったですね。で、2日目やったかな、再度、また2人の孫連れて行っと思ったら、今度は10人ぐらいのグループで泳ぎに来ていました。その中に、4年か5年生の女の子が2人、やっぱり障害者のお子がおって、正直、私も海水浴場に、まさか体に障害のある人が来るとは思っていなかったんですけど、結構、管理人に聞いたら、障害者の方、来るらしいですね。それも今度、初めて分かりました。「来るの」って言ったら、「結構来ますよ」ということ。それは重度障害者は来ないでしようけど、軽度の障害者は来られて、ああいうふうにしてバタバタバタバタ水際で遊んだりいろいろされるということです。それで、これはいかんということで、こういう質問をさせてもらったんです。

シャワー室もですね、走って行って、同じこと言うようにありますけど、「だめだめ」と言うから、「何ですか」って再度聞いたら、やっぱりほら腰かけがない、椅子がないでしょう。そ

れて、私も、全体の海水浴場を回ったことはないんですよ。グリーンパーク公園の裏のシャワー室とトイレとを見たわけです。

シャワー室も、やっぱり女子のほうに行くっていったら、私も気になったから走っていったんですけど、ずっとやっぱりそのときも百何十人来とるから、次から次にシャワー室来るもんで、やっぱりほら、女子、女のほうに、ちょっと変に思われたらいかんから管理人を連れていったんですけど、当然、両方にサイドにつかまる、何ですか、手すりがあります、あそこは。ただ言うように、座る椅子もないし、そういう整備はされていないです。

だから、お願いしたときに、体に障害のある人が、本当に移動させる椅子を置くだけでいいものか、固定した椅子にしとかないとだめなのかということは、ちょっと調べとってくださいということ、私ども前もって事前に言ったんですけど、多分、フラフラしたこんな椅子では、ああいうちょっと大きめの女の子なんかは無理だと思うわけですよ。だから、そういう、何ですか、こういう形で、やっぱりいろんな楽しみで体に障害のある人も来ているわけですので、また高齢者の方も、おばあちゃんたちも一緒に泳いだりするから、そういう方たちのためにも、こういうシャワー室にしても、ちょっとした椅子とか置いてもらったら助かると思うわけで、こういう質問をさせていただきました。

市長からの答弁も、この件も前向き検討、またグリーンパークの海水浴場は県の整備とは私も全然知らなかったわけですけど、そういう中でこういう質問をしておりますので、市長、できるだけ、こういう体の不自由な人たちが、不自由さを少しでも安らぐような海水浴場の整備をしてほしいと思いますが、もう一度、明るい答弁をお願いします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 明るい答弁をとということでございますけども、まず1点目の運賃輸送コストの関係でございますけども、冒頭答弁いたしましたように、このことにつきましては、他の団体の関係もあるというようなことで、今後、調整が必要であるということから、今後、組合長会等と十分協議をしてまいりたいという答弁をさせていただきました。

と申しますのが、こちらのほうが調べてみましたところ、今、3か月ごとに振込等をしている漁協等において、これが2か月に1回になることによって漁協職員の事務負担が若干増えることや、振込手数料等が増えるというようなことを懸念されている組合もありますというような話を聞いておりますので、このことについては、やはり漁協の組合長会等と十分協議をした上で決定をしてまいりたいというふうに思います。

次に、この海水浴場の中のトイレ、またシャワー室の整備についてでございますけども、今対馬で海水浴場として選定されている10か所の海水浴場のうち、この太田浦、勝見浦、そしてまたあと1か所、3か所において、まだ洋式トイレが整備されてなかったということが分かりまし

た。

そういうことで、今議員のほうからも話ありましたように、各学校施設とか、市内のトイレ等につきましても洋式化を進めてきておりますので、併せて、この海水浴場につきましても洋式化を進めてまいりたいというふうに考えております。併せて、シャワー室のほうも、今後、十分な調査をさせていただきながら、その対応をしてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 16番、大部初幸君。

○議員（16番 大部 初幸君） 市長、実際に、私たちは健全ですから全く今まで気がつかなかったんですけど、言われて初めて、ああそうだなということがつくづく分かりました。今、市長の答弁で、少しそういう、体に不自由のある方とか高齢者の方は、シャワー室については、トイレにしても、非常に喜ぶと思います。本当にありがとうございます。

それと、組合の改善、運賃輸送補助金ですけど、組合長との協議というのは、もう当然聞いていたんですけど、私が知っている範囲のイカ釣りを主にしている組合長は、「いや、1か月早まるんだから、ありがたい話よ、大部君」という話がほとんどで、今ちょっとそういうところもあるのかなと思うんですけど、職員に関しても、1か月早まったからって特別支障を来すことはありませんので、もう当初言ったように、多いときの箱数言うたら、市長、そうでしょう、今幾らですか、何ぼになったと。何ぼやったかな。逆に言うたら、箱数がいいときの半分になるとるわけですから、それを考えれば、そこまで差し支えるようなあれではないと思いますね。そうですね。だから、やっぱりいいと思ったことは、市長言われるように、組合も非常に困っているわけですから、対馬を救うがためと言ったら大げさになるかも分かりませんが、非常にやっぱり苦しんでいる現状です。このようなことが実際に早くできれば、またいろんな意味で組合員も助かると思います。

実際に、この組合員数の減り方というのは、そちらのほうでも把握はされていると思いますけれども、漁業者離れというのが5か年で、前も言いましたけども約560隻減っているわけですよ。今年調べれば、まだそれ以上に減っていると思います。25年のときは約4,250隻が、29年は3,656隻に減って、だからさっき言ったように、560ぐらい減っているわけですよ。こういう形、水揚げにしても半額やないですか。このままになってしまえば、本当に対馬から若い者の漁業者は去っていくばかりということになりますので、少しでもできる範囲からしてほしいと思います。

この前あった5万円の補助にしても、1組合員にですね、ありがたいんです、もちろんありがたいお金でしたけども、またこれは、今度金額が張りますので、1組合員にしても箱数152円まで上がっているわけですから、すぐ100万、200万になってくるわけですよ、数釣る人は

ですね。そういう意味で助かると思いますので、組合長とのその話し合いというのも、よく聞いておりますので、聞きましたので、早めにそういう協議をしてもらって改善してください。もう12漁協中、対馬は6月に総会が、漁協総会があつてますけど、全てに赤字ですよ、組合が。もう6,000万、7,000万、イカ釣り組合はどこの漁協も赤字出しとるやないですか。だから、そういう赤字が出ていますので、赤字が出たからこういう話をするんじゃないで、少しでも改善できるように、市長、お願いしておきます。

市長の答弁がそういう前向き、検討をするということですので、私ももうこれ以上くどくど言いません。本当に2つの質問させていただきましたけど、そういう前向き検討の答弁を頂きましてありがとうございます。これで終わります。

○議長（小川 廣康君） これで、大部初幸君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩をいたします。再開を10時50分からといたします。

午前10時36分休憩

午前10時50分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。1番、坂本充弘君。

○議員（1番 坂本 充弘君） おはようございます。1番議員、新政会の坂本充弘でございます。

質問に入ります前に、7月の大雨により、増水した川でお一人が亡くなられました。誠に残念な事故で、心から御冥福をお祈りいたしますとともに、御遺族の皆様には心からお悔やみ申し上げます。

また、同月末にも猛烈な雨が降り続き、大きな被害が出ております。対馬市では、29日午後2時半までの48時間に約500ミリの降水量を観測し、長崎地方気象台は「50年に1度の記録的な大雨」と発表しました。9月に入りますと、台風第9号及び台風第10号が立て続けに対馬を直撃しました。両台風による暴風被害がかなり出ているようでございます。被災されました市民の皆様には、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧となりますよう祈念申し上げます。

それでは、通告に従い、質問に入らせていただきます。

1項目めは、市街地内における道路脇側溝の清掃について、2項目めは、バスと飛行機のアクセスについて、3項目めは、新型コロナウイルス感染症に係る児童生徒の今後の予防策についてでございます。以上の3項目についてお尋ねをいたします。

1項目めの市街地内における道路脇側溝の清掃についてでございますが、これは皆さんもよく